

【科目情報】

授業コード	1FCB607010	科目ナンバリング	FCALAW84007-J1
授業科目名	倒産法1		
担当教員氏名	溝淵 雅男		
開講年度・学期	2022年度後期	曜日・時限	水曜1限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	倒産とは、債務者が自らの支払債務を履行できない状態をいう。本来の義務が履行できないため、その利害調整のルールが必要となる。倒産法は、裁判所を通じた倒産状態の処理のルールを定めるものであり、破産法は其中でも基本となる法律である。法律実務家として必要とされる、破産法の基礎的知識を紹介する。
到達目標	受講を通じて、①破産法の基本的内容や思考方法を理解すること、②それらが実務の場面でどのように作用するかを知ること、③倒産法に興味を持ち積極的に学習する意欲を身につけることを到達目標とする。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	倒産法の概要	予習としては、倒産法の概要を把握するため、山本和彦『倒産処理法入門（第5版）』（有斐閣・2018）の第1章から第4章までを一読しておくことを勧める。復習に重点を置き、破産法を自学自習で身につけるための基礎体力を身につけてもらいたい。
第2回	破産手続の流れ、手続機関	同上
第3回	破産申立・破産手続の開始	同上
第4回	破産財団と破産債権・財団債権	同上
第5回	契約関係の取扱い	同上
第6回	取戻権・別除権	同上
第7回	相殺権	同上
第8回	否認権	同上
第9回	破産財団の管理・換価	同上
第10回	破産債権の確定手続	同上
第11回	多重債務者関係の処理	同上
第12回	配当手続	同上

第13回	個人破産	同上
第14回	各論点の振り返り①	同上
第15回	各論点の振り返り②	同上
第16回	期末試験	

成績評価方法	評価方法は、平常点20%、期末試験80%。絶対評価。 破産法の各制度について基本的理解ができているか、当該理解を事案につき適切に当てはめることができるか否か等を基準として判断する。
履修上の注意	倒産法は特別法であるため、民法・民事訴訟法・民事執行法等の基本法を理解していることが望ましい。 もっとも、基本法がどのように修正されるかは授業において適宜説明する。
教科書	担当教員が作成・配布するレジユメを用いる。
参考文献	参考書としては、山本和彦『倒産処理法入門（第5版）』（有斐閣・2018）、伊藤眞『破産法・民事再生法〔第4版〕』（有斐閣・2018）、全国倒産処理弁護士ネットワーク編『注釈破産法（上）・（下）』（きんざい・2015）、伊藤眞＝松下淳一編『倒産判例百選（第5版）』（有斐閣・2013年）等がある。 その他、適宜、講義において紹介する。
その他	